

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	小中一貫教育推進事業			会計	款	項目	大専	小事
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	指導課			
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	西村 淳			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内小中学校教職員及び児童生徒	意図	小中学校の連携による児童生徒の発達段階や他の校種の教育を学び合い教育効果を高める。
事業内容	流山の小中一貫した教育として、小中学校の連携した取り組みを計画的に進めていく。児童生徒間の交流、教師間の交流や情報交換、そして「学びの指導のつながり」を積極的に進める。			
事業開始から現在までの状況変化	中学校区ごとに部活動体験会、合同挨拶運動、中学生の学習サポート、校内研修会（相互参観）などを通し、児童生徒の交流及び体験学習、教職員の研修を計画的に実施している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	小中乗り入れ（出前）授業	15	15	15	校	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	小学生にとっては、様々な体験を通して中1ギャップへの対応、中学生にとっては、小学生と接することによって落ち着いた生活を送るなどの効果が出ている。	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	教務主任研修会を開催し、各小中学校区での組織作り、年間計画づくりをし、それに基づいた実践を進めている。部活動合同練習や中学校体験入学、行事での交流をはじめ、全ての中学校区ごとで、教職員による小中合同の研修、授業参観を実施した。情報交換を進め、課題を共有し合いながら学び合い、さらなる実践につなげようとしている。
事務事業の総コスト(a=b+c)	3,711,767	3,669,590	3,645,438	
事業費(b)(円)	1,995,517	1,991,590	1,997,438	
うち一般財源	1,995,517	1,991,590	1,997,438	
職員給与費(c)(円)	1,716,250	1,678,000	1,648,000	
人役・職員(人)	0.25	0.25	0.25	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	各学校の年間行事計画等を把握し、中学校区ごとに無理のない連携をすすめるよう調整を図る。	③取組における課題(Check)	学校区の特徴を生かした連携を行うことや、相互の授業参観等を通し、学習指導面の連携を深める取り組みを進めていくことが課題である。
②H30に実施した取組(Do)	中学校区ごとに年間行事計画を交換し合い、スムーズな連携を図るとともに、中学校区ごとの取り組みを紹介し、活動の見直しを図った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	地域性（形態、立地等）を踏まえた連携活動を推進していく。また、学習内容の系統性の把握や外国語の教科化を踏まえた連携を進める。